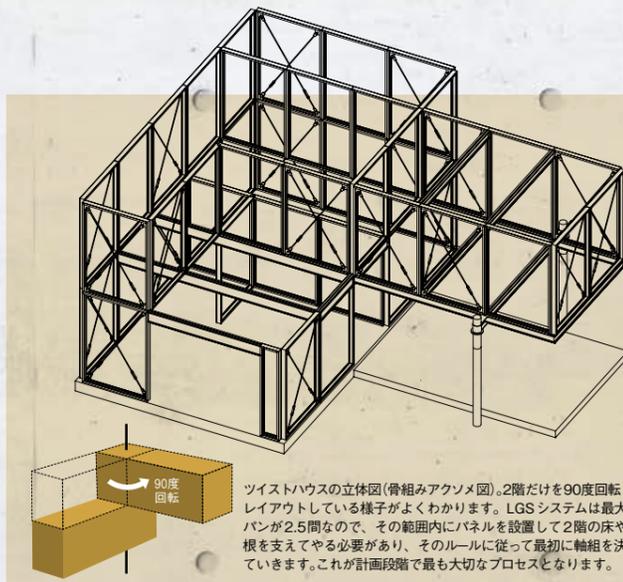


Theme

# 新感覚のコミュニティスペースを備える ひねり技が利いた 郊外型『ツイストハウス』

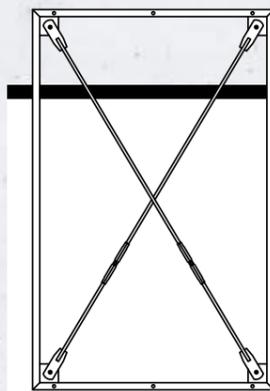
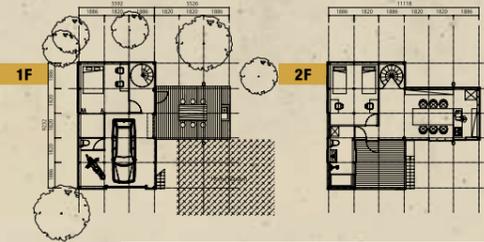
建物2階の一部を、1階に対して90度回転させたら、  
半屋外のコミュニティスペース『ワイルドピロティ』が出来上がり、  
住宅はグッと楽しくなります。LGSシステムならではの、  
G難度の“ひねり技”をご覧ください。



ツイストハウスの立体図(骨組みアウトライン)。2階だけを90度回転し、レイアウトしている様子がよくわかります。LGSシステムは最大スパンが2.5間なので、その範囲内にパネルを設置して2階の床や屋根を支えてやる必要があります。そのルールに従って最初に軸組を決めていきます。これが計画段階で最も大切なプロセスとなります。

ツイストハウスの平面プランです。このプランにはソファの前に壁掛けテレビがあるような、ステレオタイプのリビングルームは設定していません。家族が集まる空間は、むしろ大きなテーブルがあるふたつのダイニングにしています。プライベートな2階のダイニングと、1階にある仲間が集まる半屋外ダイニングです。

FLOOR PLAN



What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていき一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。



巷では最近、立方体のような箱型の住宅が流行っていて、色々なハウスメーカーがどれも同じような四角の家を提案しています。建築はその4つの角を構造体にする必要があるため、一辺の距離が短い小さな立方体の家ではコーナーとコーナーの中央のワンスパンしか開口部にできません。したがって、その開口部の連続性も表現しにくく、開放的な空間を構築するのが難しいのです。となると結局必然的に旧来のリビングルーム中心主義に留まってしまいます。そこで外部に対する解放感を最大限発揮するために、今回のプランでは1階と2階を積み上げた普通の総2階の家ではなく、立方体にプラスαした構造の2階部分を90度回転したレイアウトにしてみました。名付けて「ツイストハウス」です。家の2階部分を直角に回転させることで導線に奥行きが生まれ、様々な楽しい要素を創り出すことが可能

となり。例えば、玄関脇に設けた正規の導線であるらせん階段以外に、ルーフバルコニーから1階に降りる別の導線を設定。これにより庭などにアクセスしやすく、外部空間を立体的に使うことができます。ルーフバルコニー横に設けたお風呂からの眺めも最高です。さらに特徴的なのが、2階構造体の底面を屋根として使った野外スペース「ワイルド・ピロティ」。クルマやバイクを格納した二方向開放のガレージに連続した、いわば第2のダイニング。第2の「グ」とも言える存在です。煉瓦で囲った炉を作ってツーパーナーを設置しておけば、ここで食事なんてこともできてしまいます。家族や気の合う仲間を巻き込めば、さながら毎日ガランピング気分。家庭菜園の野菜をさっと炒めて冷えたビールを煽れば、これに勝る爽快感はないでしょう。そしてこの建物が魅力的なのは、ひねっているだけで、そもその居住面積は変わらないことです。つまりそれは建築価格にも大きな変化がないということ。因みにこの家は1階が3×5スパンで15坪、2階が17坪の合計32坪です。ご予算は設計費別で坪当たり65〜75万を想定しています。



コチラはツイストハウスの実例。鉄骨構造ならではの突き出した部分(キャンティレーバー)がいつまでも飽きのこない建物の顔を形成します。内観も魅力的。鉄骨の艶消し黒の素材感が空間のアクセントに見えます。庭のグリーンとの相性も絶妙なのです。

90度回転させた2階突出部分の下にある半屋外のコミュニティスペースがワイルドピロティです。昔の土間のような位置付けの二方向開放のガレージに隣接して、仲間との時間をさらに豊かにするボーナススペース。雨にあたる心配がなく直射日光を遮るので、イスやテーブル、そしてツーパーナーなどを常設すれば、ココを第二のダイニングとして活用することが可能です！



**INFORMATION**  
**LDKinc.**  
デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんなこと、建築システムの開発や商品開発も行う。  
代表:玉田敏士  
WEB: www.ldk.co.jp  
TEL: 03-6228-4933  
DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP  
www.daytona-house.com